

春の火災予防運動 3月1日(金)～7日(木)

空気が乾燥し火災が起こりやすい時季です。
一人ひとりが火災予防を心掛け、尊い生命や大切な財産を
火災から守りましょう。

☎ 消防課 予防班 ☎(内線)3717

火を消して
不安を消して
つなぐ未来

2023年度全国統一防火標語

住宅防火 いのちを守る10のポイント

発生を防ぐ 4つの習慣

- 1** 寝たばこは絶対しない、させない
たばこの火種が消えたか確認しなかったため火災に
たばこ火災
- 2** ストープの周りに燃えやすいものを置かない
ストーブの前に衣類を置いて火災に
ストーブ火災
- 3** こんろを使うときは火のそばを離れない
こんろに火をつけたままその場を離れて火災に
こんろ火災
- 4** コンセントのほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く
束ねた電気コードやたこ足配線で火災に
電気器具類の火災

万が一に備える 6つの対策

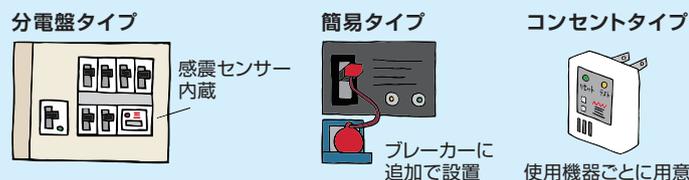
- 1. 火災の発生を防ぐために**
ストーブやこんろなどは、安全装置の付いた機器を使用する
- 2. 火災の早期発見のために**
住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 3. 火災の拡大を防ぐために**
部屋を整理整頓し、寝具およびカーテンは防災品を使用する
- 4. 火災を小さいうちに消すために**
消火器などを設置し、使い方を確認しておく
- 5. 安全に避難するために**
お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確認し、備えておく
- 6. 助け合いのために**
防火防災訓練、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

感震ブレーカーを設置して、地震火災の発生を抑えましょう

地震火災の過半数は電気による通電火災が原因となっています。

通電火災には感震ブレーカーが効果的です。
感震ブレーカーは、センサーや振り子などにより揺れを感知した時に、自動で電気ブレーカーを遮断し、強制的に停電させる仕組みです。

※ 設置の際、夜間や寒冷時また、医療用機器を設置している場合は、停電に対処できるよう、懐中電灯や防寒衣、バッテリーなどを備える必要があります。



災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催

☎ 危機管理室 ☎(内線)3783

1月27日、農村環境改善センターで「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を開催しました。これは、災害発生時にボランティアの運営・調整などの活動を担うコーディネーターの育成を目的としたものです。炊き出し訓練や、災害ボランティアセンター運営訓練などが行われ、災害支援活動に関心のある方や防災士の方など総勢65人が受講しました。



災害ボランティアセンター運営訓練の様子